



第1810回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL.38 No.14

2011年10月19日(水)

事務所:田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30 ~

司会者

上原 俊宏 会長

唱 歌

"故郷の空"

谷中順次郎 君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
49名	2名	13名	72.34%
10月5日修正出席率93.48%			

ゲスト

米山奨学生 ピョピョウェー様 ピューピュー テッコ様(共にミャンマー出身)
 地区米山学友小委員長 雪本 孝治様 委員 吉川 恵三子様

ピジター

田辺RC 津村 寛司様

ニコニコ箱

(敬称略)

米山月間にご理解頂きありがとうございます。
 上原会長、佐田幹事、玉置米山委員長様宜しく。
 地区学友の坂本様にはお世話になっています。

地区米山学友小委員長 雪本 孝治様
 本日は委員長雪本さんとご一緒させて頂きました。
 どうぞ、宜しく願い致します。

地区米山学友小委員 吉川 恵三子様
 お世話になります。 田辺RC 津村 寛司様
 米山奨学生 ピョピョウェー様
 ピューピュー テッコ様をお迎えして。

藍畑、愛須、平野、本田、泉、片井、畔田
 楠本、丸山博、森本、中川、中嶋、岡本
 佐田、武田、竹村、谷本、谷中、玉置
 上原、山本、吉田、吉本

米山地区委員、雪本様、吉川様本日はようこそお
 いで下さいました。ありがとうございます。坂本
 暴力追放パレードお疲れ様でした。 木村
 お久しぶりです。 隠岐
 お花頂きます。 宇都

故郷の大和へと向かいます。そのときに詠んだ歌を辞
 世の歌とすると、それはまさに落葉帰根を意味します。

倭は 国のまほろば たたなづく 青垣 山ごもれる
 倭し うるわし 又、倭の妻を想い
 愛(は)しけやし 吾家(わきへ)の方よ 雲居起ち
 来も(くもいたちくも) そして、最後に
 嬢子(おとめ)の 床の辺に わが置きし 剣の太刀
 よ その太刀はや と謳い、魂は白鳥となって
 思い出の地に帰って行きました。

会長報告

- 本日のゲストは、ミャンマー出身の米山奨学生のピョピョウェー様とピューピュー テッコ様、地区米山学友小委員長の雪本孝治(ゆきもと たかはる)様、地区米山学友小委員会委員の吉川恵三子様です。後ほど、卓話を宜しくお願い致します。
- 10月18日(火)田辺市暴力追放協議会主催の街頭啓発パレードへの参加、ご苦労様でした。
- 本日例会終了後、定例理事会を開催します。理事・役員の方はご出席願ひ致します。
- 来週は奉仕食です。ご協力お願い致します。

幹事報告

- 例会日時変更
 ・有田2000RC 11月2日(水) → 移動スポーツ
 例会(於:トークランドボウル)
 11月9日(水) → 11月12日(土)龍神村紙すき体験
- メークアップ

会長報告の前に・・・

落葉の季節になりましたが、帰根の意味の一つは故郷回帰です。崇神、垂仁、景行、成務、仲哀、応神、仁徳、履中、反正、允恭・・・と続く歴代天皇のうち、日本武尊は、父の12代景行天皇の指示で東国のまつろわぬ者どもを平定させる旅に出ます。長い旅の末、伊吹山での戦いで破れ、身も心もズタズタになりながら

10月18日（火）田辺市暴力追放協議会主催の街頭
啓発パレードへの参加者

愛須君、平野君、泉君、木村君、栗山君、佐田君、
坂本君、武田君、谷峯君、谷本君、玉置君、渡口君、
山本君、吉田君、吉本君

■ 回覧

- ・週報「白浜RC」
- ・関西電力株式会社さんより「わっと秋号」
- ・田辺はまゆうRCさんより「20's メモリアル・チャリティ・ゴルフコンペのご案内」
- ・ガバナー事務所より「ガバナー月信10月号」「ハイトよねやま139号」「公式訪問の御礼」「帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 インターアクトクラブ加盟認証のお知らせ」「インターアクトクラブ海外研修オリエンテーションのご案内」「世界ポリオデーに寄せて」
- ・11月9日（水）移動例会のご案内（出欠表）

■ 連絡

- ・当クラブ会員の山下郁夫君が県教育委員会委員長に選任されました。

委員会報告

- 山下郁夫君の県教育委員会委員長就任を祝う会のお知らせ。 回覧しますので出席の方は宜しく願います。

米山奨学生をお迎えして



地区米山学友小委員長
雪本 孝治様

本日は、米山奨学生をお連れしました。

ミャンマー出身のお二人には、ミャンマーの事、米山の事などお話して頂きます。

ピョピョ ウェー様

皆様、こんにちは。

まず、東日本大震災及び台風12号において被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また被災地にお

いて、日夜を問わず被災者援助に全力を尽くしていらっしゃる皆様に深く敬意と感謝の意を表しながら、あらためて、被災地が一日でも早い復旧と、皆さまのご無事を、心よりお祈り申し上げます。



はじめまして！米山奨学生のピョピョウェーと申します。ニックネームはポポと申します。その方が呼びやすいと思います。ミャンマー出身です。現在、大阪観光大学、観光学部、観光学科、トラベル経営コースを勉強しております。今年は4回生です。私は今年の4月から米山記念奨学生として選ばれてとても光栄です。現在は関西国際空港ロータリークラブに所属し大変お世話になっております。

現在、日本は色々な災害を受けている中私たち、留学生に支援するロータリーアンの皆様の奉仕の心をととても感謝しております。ロータリーを通して日本への感情を私の家族はもちろん、ミャンマーの人々にお伝えをしたいです。ロータリーアン、皆様と出会う本の短い間に私は自分の力でミャンマーの文化と慣、人々の心、生活などを伝えながら交流の橋を築きたいと思っております。

ロータリーアンの皆様のお陰で、厳しい日本での生活面に助かるだけではなく、自分自身でもとても体験ができない、人物交流、文化交流ができた上に、様々な知識を得る事ができて私にとって、貴重な体験となっております。毎月の例会をはじめロータリーのいろいろな活動を通じて、社会奉仕の素晴らしさを体験し、個人の社会意識が高まりました。ロータリーアン皆様の奉仕の心を感謝しながら、米山奨学生らしく有意義な学生生活を過ごそうと思っております。本日、私がこちらで立って挨拶できていることも皆様のお陰です。私以外にも米山奨学生として選ばれている外国人の学生たちも私と同じ気持ちだと思います。この場を借りて皆様にお礼を深く申し上げたいです。誠にありがとうございました。

私は2006年4月に来日し、もう5年半になりました。留学中は親からの支えを受けずに、自分一人で頑張ろうと思いました。勤勉に励みながら日本の社会を少しでも勉強になればという思いでアルバイトをしました。せっかく日本に来たので、できるだけ多くの講義に出ました。日本語は難しいですが、諦める気はありませんでした。たくさんの単語を覚えながら、苦手な漢字を克服できるように頑張りました。学業とアルバイトの両立で多忙な毎日を送りました。いろいろなことが体験したいと思いつつ、余裕がないため、自分の思いがままならなかったです。遊ぶことなんか自分と関係がないようでした。その時一番寂しかったのは夜遅くアルバイトから帰ってきても「お帰りなさい」と挨拶

してくれる人がいなく、嬉しいことでも辛いことでも伝えられなくて、部屋に自分一人で寂しくて、寂しくて何回も泣いたことがありました。今から顧みるととても子供ぽかったと思います。今は日本の習慣には徐々に慣れてきましたし、日本の食文化にもはまっちゃいましたが、刺身だけがまだまだ食べられないです。皆さんにもったいないといつも言われています。ミャンマーでは生モノを食べる習慣がないからです。日本に来た時は料理が作れないし、和食が食べられなくて困りました。国にいた時は何でも親に作ってもらいましたので、日本で初めて一人暮らしをした時とても大変でした。しかしながら、日本に留学することは自分が決めたことだから、どんなに苦労をしても、諦めず頑張ろうと自分で自分を励ました。ミャンマーでは一人暮らしをする習慣はありませんし、例え、子供が大学を終えたとしても親と一緒に住むのが当然です。結婚しても親と一緒に住みながら、今まで自分を養ってくれた親に恩がえしとして親の面倒を見てあげます。いつも親と相談し、親が決めたことなら何でも従います。例え、結婚の相手まで親が決めます。なので、ミャンマーでは親に対する意識がとても強くて、虐待とかも全然ないと言えます。ミャンマーは仏教国であり、人口の85%が仏教徒です。お釈迦様と同じレベルで親を大事にします。私が日本に留学にした時も両親からの許可と支えで無事留学ができたのです。親と離れてから親の気持ちをよく理解し、親からの愛情をより深く感じました。

現在、私は大学でトラベル経営を勉強しております。観光に興味を持ったのは外国の観光客がミャンマーを訪れたvisit Myanmar year 1996 がきっかけでした。ミャンマーにたくさんの観光客を来てもらいたい、ミャンマーの観光地を世界の人々に知ってもらいたい、母国の観光産業を発展させたいので、本学の大阪観光大学に入学しましたのです。本学では、母国の観光産業の発展のため、参考となる、地方観光振興論、都市観光論、外客誘致論、外客受け入れ体制、国際観光振興について勉強しております。それらの観光を通して世界各国の観光地の事情、歴史と文化、地域振興から地方行政における新しい観光のあり方などが学べます。中でも、私は観光が地域社会に与えるインパクト、観光による文化変容といった観光と社会に関連する事情から社会学の見方を学び観光領域における観光の効果、余暇活動や観光行動、人々の交流によって引き起こされるプラス、マイナスの影響、文化の商品化について研究しております。

観光は平和のパスポートであり、観光を通して母国と外国との平和友好の懸け橋となることに貢献できる観光大使のような働きを望んでおります。さらに、私はロータリーアンの皆様と交流により身に付けた助け合いの精神を一生持ち続け、一期一会の心を込めて人の役に立ち、人に喜んでもらいながら、世界平和を築いていきたいです。将来、母国で身よりのない子供達

のため、児童保護を施設し、未来二つの国の平和、交流の使者になる子供に今まで自分が学んだことをはじめ、日本の文化、習慣、平和の良さを真実に伝えたいです。私一人の力が小さいものかもしれませんが、積極的に行動を起こしていきたいと思っております。

この前にも、私は自分のできる力と皆様の力を合わせて、和歌山のボランティアに積極的に活動をしました。被災地を目にした時は心がとても痛みまして、どうしたら早く復興をするのか、いろいろな対策を考え、何回でも私の手を貸してあげたいです。被災地で私たちは家の掃除のような作業をしましたが、達成感と満足感がありました。助けを必要とする人々にわずかな支えでもできたことが私にとって何によりも嬉しいことであり、助け合いの精神を活かせる機会をくださった米山学友会の方々にもとても感謝しております。私は今回のボランティア活動を通してこれからも社会貢献の活動をより増やそうと心に誓いました。

ビュービュー テッコ様

私の留学生活と米山奨学会から学んだこと



皆様こんにちは！はじめまして。

米山奨学生のビュービューテッコと申します。ミャンマー出身です。貝塚のロータリークラブに所属しております。現在は大阪観光大学でトラベル経営コースを勉強しております。今年は4回生です。まず、私は皆様に感謝の気持ちをお伝えしたいです。親の元から離れてきた私たち留学生に支援を下さるロータリーアン皆様およびご家族の方々にも心より感謝しております。この場を借りて深くお礼を申し上げたいです。誠にありがとうございます。私は昨年から米山奨学生として選ばれミャンマーの留学生として大変誇りを持っております。皆様から奨学金の支援だけではなくて家族一員のように優しく暖かく親切に接して下さいて本当に感動しました。単なる留学生の立場では体験できないロータリーアンとの人物交流、毎月の例会、地区大会、地区行事、社会貢献の活動などを通じて日本と日本語への理解を深められ、異文化理解をより一層深く理解することができました。ロータリーアンとの交流によって皆様からの素晴らしい人生観を見習って自分の生き方をもう一度考えるようになりました。以前私は日本で色々なことを体験したいと思っていましたが、アルバイトと勉学で時間の余裕もお金の余裕もありませんでした。今では皆様のおかげで、学生らしく時間をあげて学業に力を入れながら普段の生活の中では触れることのできない日本の文化や日本人の風習等に触れることができて私にとって貴重な体験となり充実した学生生活を送ることができました。皆様、本当にありがとうございます。本日は皆様に日本で感じたこととミャンマーについて少しお話をさせていただきます。

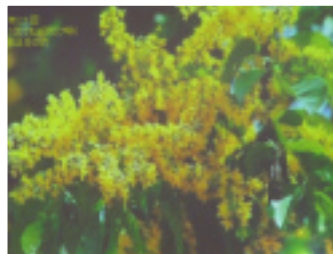
私は日本に来た時日本人の考え方によく理解できませんでした。日本人は朝から夜遅くまで仕事をやっているからです。それに、60歳を超えた人でもまだ働いているから「不思議だなあ」思いました。私の国だったら、夜遅くまで働かないし必ず60歳を超えたら退職してのんびり生活を送るのが当たり前のことです。子供が親の面倒をみてあげることも昔ながらの風習でございます。来日してまだ働いているお年寄りをみて好きなおばあちゃんを思いだして心が痛みました。「大丈夫ですか」と心の中には常に響いています。それに比べて母国でのお年寄りはゆっくりはしているんですが健康で本当に幸せであるかどうかは明確ではありません。日本人はすごく元気でやる気が一杯で頑張っている姿をみて、やはり人間は自分で楽しく過ごすのではなく健康で社会貢献ができる力を持っていないかならなと思いました。それも、日本で異文化体験をしなければきっと分からなかったでしょう。若者からお年寄りまで頑張っている皆さんに尊敬しております。日本の今日の繁栄は皆様がよく働くことによって、もたらしたものであることを深く理解することができました。もしも、母国の人たちが約束をちゃんと守って時間を大切にしていればミャンマーが必ずしもより発展の道に乗れるんじゃないかと思いました。どんなことでも自分のほうから心を開いてお互いの文化や伝統、習慣を尊敬し合ったら新しい世界が広がる事に気付き、より国際視野を広げられました。それは、米山奨学生になってロータリーアン皆様からの支えで視野の狭い道から広い路へと向かって歩むことができました。皆様、誠にありがとうございました。

続きまして、最近私は和歌山県でボランティア活動をしてきて、得られた喜びを皆さんと分かち合いたいと思います。私たち留学生に支援を下さる日本の皆様に感謝の気持ちを何か形にして少しでも返してあげたいと常に考えていました。そんな時、米山奨学会から和歌山のボランティア参加に誘われやっと自分の願が叶えたと嬉しく思いました。9月の24と25日には台風12号で被災を受けた和歌山県新宮市熊野川町で雪元先生、谷野先生、京谷先生、西村先生後はこちらのクラブの坂本先生および奥様の明子先生と玉木先生との協力を受けて二日間ボランティア活動をしてきました。恐ろしい自然災害を目にして現地の住民たちのために一日でも早く心のケアと元のライフラインにしてあげたいという気持ちが一杯でずっとワクワクしていました。それから浸水した家入って荷物を運び出したり、泥をはき出したり、床掃除をしたり、してあげました。今後もこのようなボランティア活動を通して社会貢献の活動等をより増やしていこうと思いました。卒業後は日本で就職をしながら米山奨学友会に入っただけでも社会貢献の活動ができればと考えております。それから、いつか私も母国へ帰るんですが、日本で学んできたことを国で活かしながら礼儀を重んじる日本の文化や習慣等を真実に次の世代まで伝えていきたいです。母国と日本の友情の花を咲かせるため、国境を超えてきた私たち留学生が先に好意を表して人と人の間にある溝

を渡るべきだろうと思いました。このような身近なことを少しずつ積み重ねながら第二の故郷日本での留学生生活を満喫しております。本日はせっかくなので皆様にミャンマーの事を紹介させていただきます。

《 バダウ 》

1年に一度だけ正月（4/18）に咲く花

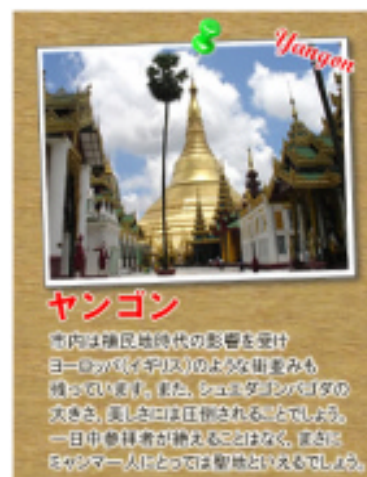


《 ゴールデンロック 》

山頂にある、岩の上に岩が危うくのっています。落ちそうで落ちない不思議な岩です。



ミャンマー第2の都市マンダレーはミャンマー仏教文化と信仰の中心でもあります。バガンは広大な草原の中に、大小3,000を超えるパゴダがあるというところ。世界三大仏教遺跡のひとつです。



皆さん一度観光に行ってみては如何？